

大学院医学研究科における 自己点検評価アンケート結果

2012.6

久留米大学医学部事務部教務課

アンケート調査の概要

- (1)「教員に対する大学院教育・研究に関する意識調査」の実施
 - a. 対象者 : 大学院医学研究科に所属する有給講師・准教授・教授で、平成23年度に履修登録がなされた科目の担当責任者
 - b. 実施時期: 平成24年2月
 - c. 実施方法: 氏名記名方式。講座等を通じて配布。

- (2)「学生による大学院教育・研究に関する意識調査」の実施
 - a. 対象者 : 平成24年3月現在大学院医学研究科に所属した学生
 - b. 実施時期: 平成24年2月
 - c. 実施方法: 氏名記名方式。
なお、「講義実習に関する意識調査」については、学生が履修した科目ごとに実施する。

集計結果

(1)「教員に対する大学院教育・研究に関する意識調査」の実施

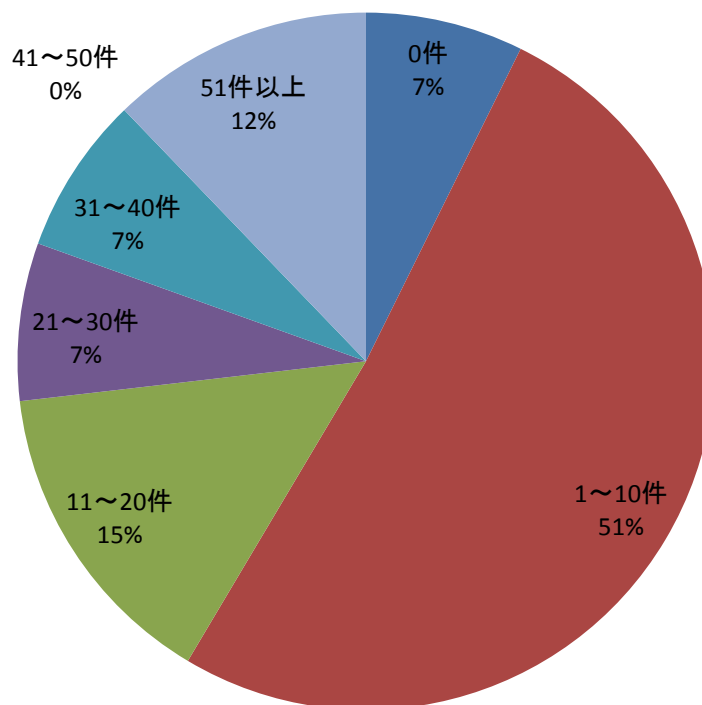
- a. 対象者 : 91名
- b. 有効回答者 : 41名
- c. 無回答 : 50名
- d. 回答率 : 45%

(2)「学生による大学院教育・研究に関する意識調査」の実施

- a. 対象者 ……修士課程:46名
博士課程:106名 (全学生122名中休学・満期退学・未履修者等除く)
- b. 有効回答者……修士課程:26名、博士課程:47名
- c. 無回答 ……修士課程:20名、博士課程:59名
- d. 回答率 ……修士課程:44%、博士課程:44%

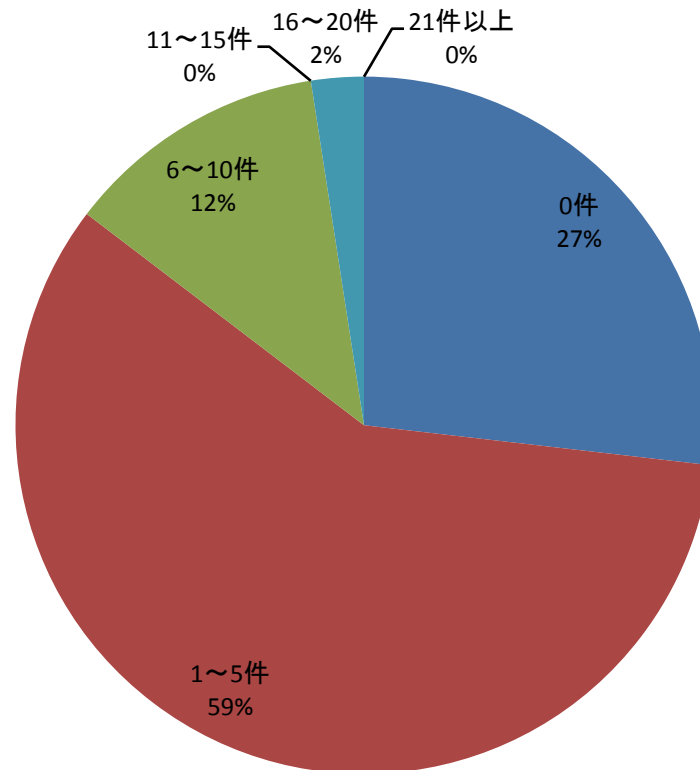
教員に対する大学院教育・研究に関する意識調査 結果1

国内の学会・研究会発表数

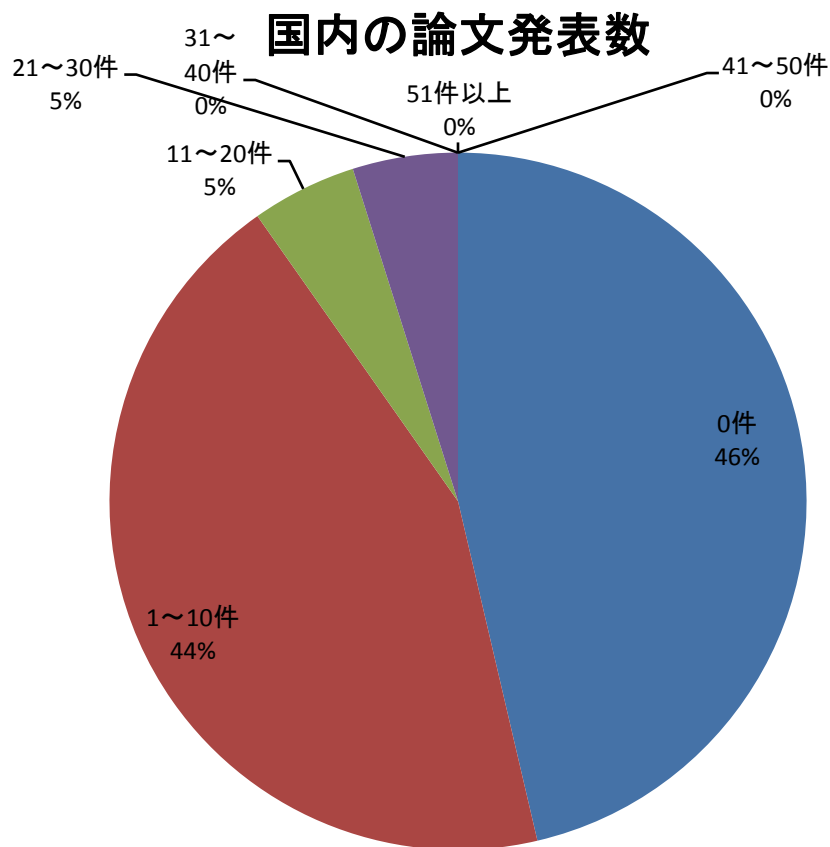


教員に対する大学院教育・研究に関する意識調査 結果2

海外の学会・研究会発表数

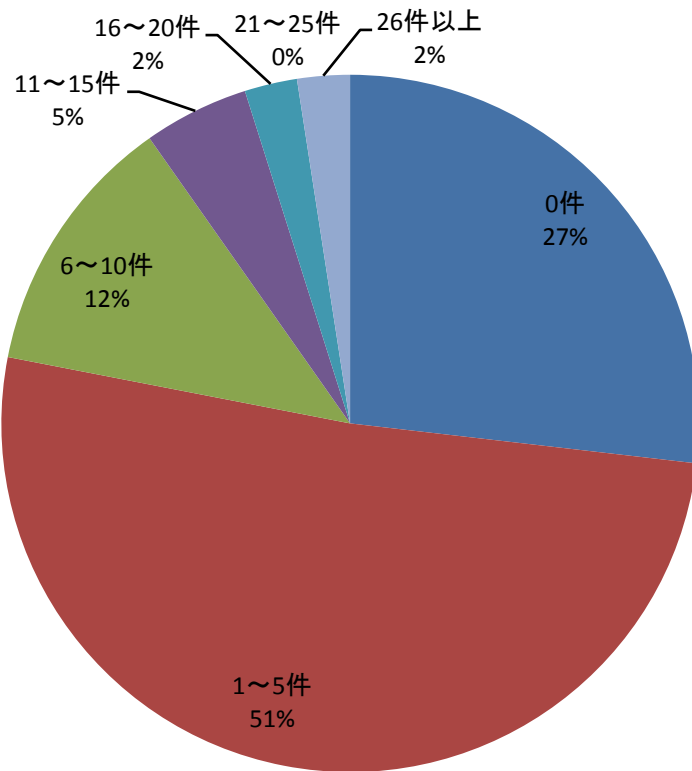


教員に対する大学院教育・研究に関する意識調査 結果3



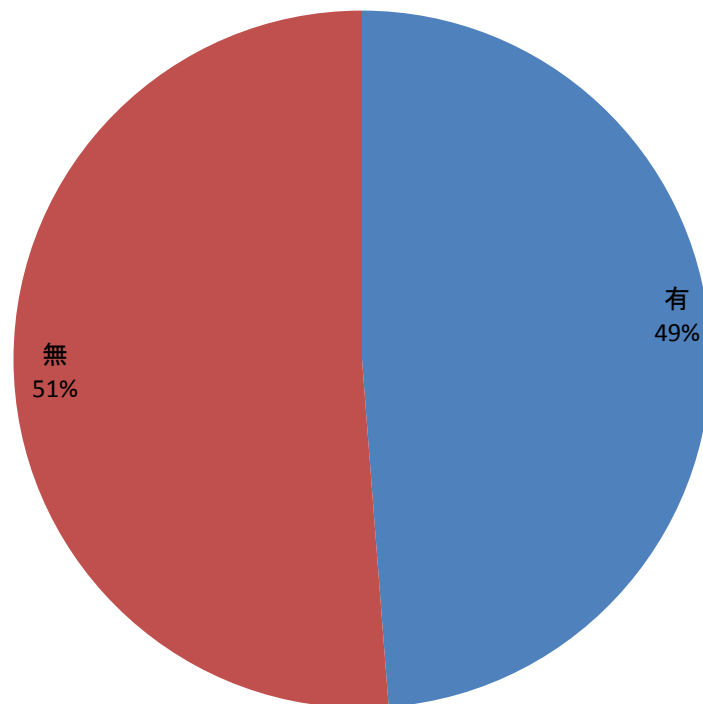
教員に対する大学院教育・研究に関する意識調査 結果4

海外の論文発表数



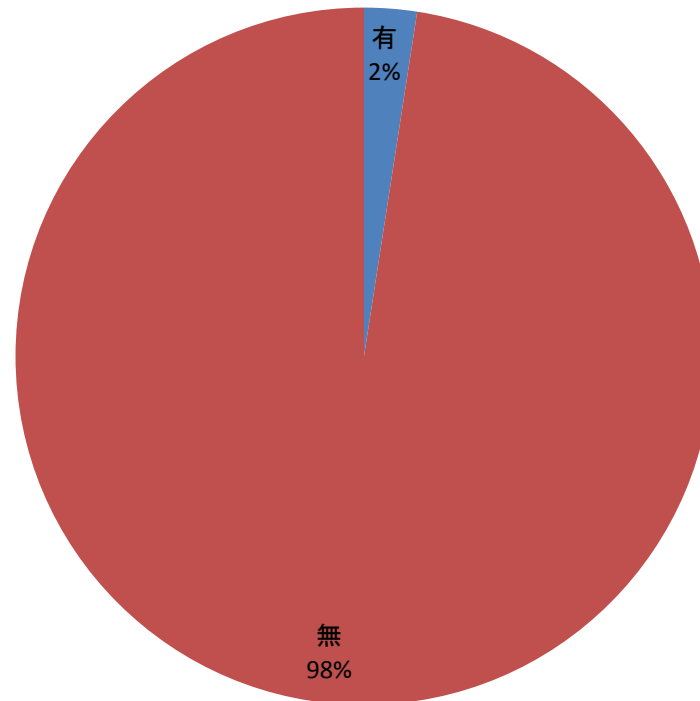
教員に対する大学院教育・研究に関する意識調査 結果5

研究費の獲得状況



教員に対する大学院教育・研究に関する意識調査 結果6

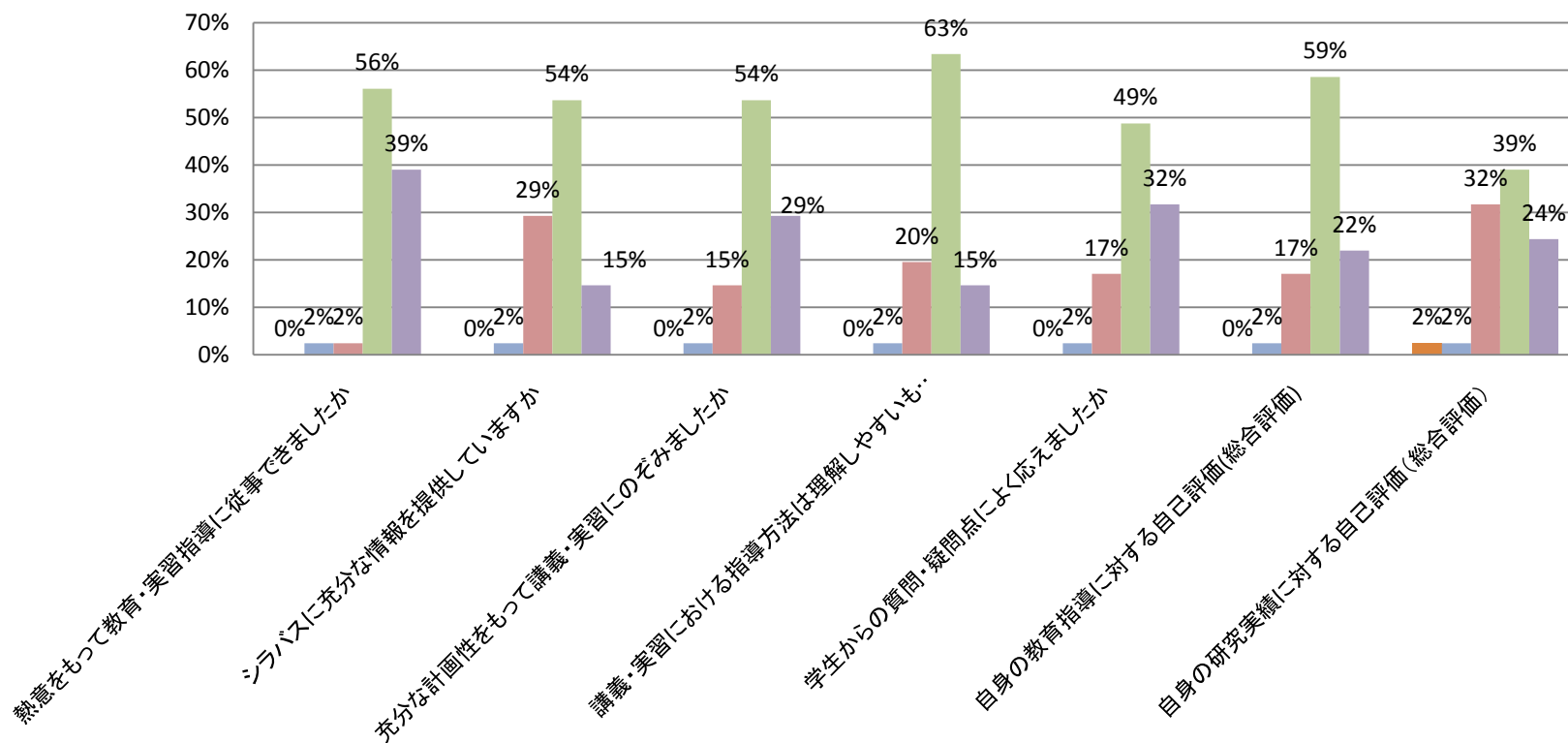
学会賞等獲得有無



教員に対する大学院教育・研究に関する意識調査 結果7～5段階評価

5段階評価

1 2 3 4 5

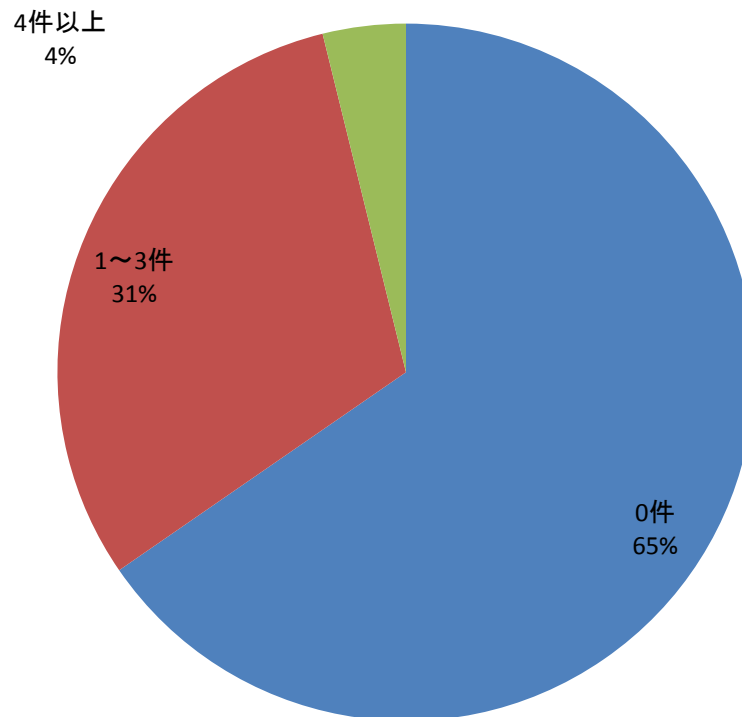


教員に対する大学院教育・研究に関する意識調査 結果8～教員のコメントその1

- 17時以降の講義・実習に参加される社会人枠の大学院生は全員学習への熱意が感じられる。当方で担当している最新の研究結果を含む講義(1コース2～3名)においても自らの立場からの医学・生物学的あるいは社会医学的問題をしっかりと把握した適切な疑問・質問がなされ、短時間ではあるが有意義な時間となっている。
- 医療業務などで17時以降から研究に参加される方、また社会人枠の大学院生は時間の制約があるなか意欲的に教育を受け研究をされている。担当教官も22時過ぎまでは毎日指導にあたっている。すなわち、教員は会議や外部の研究打合せ等17時以降の雑務も多く前日時間を費やせる学生と比べ社会人枠の学生への指導量は物理的に少なくなる傾向がある。また、教員には17時以降の定期的な用務スケジュールがあることも多くそれが特定の曜日にしか来ることができない学生のスケジュールとぶつかってしまった場合はさらに深刻であらゆる対応をしても全員を同じ条件にすることは困難です。
- 臨床的研究も行いたい但し雑誌などの評価が低いいため行いにくい。
- 分子機能・疾患の解明に、生化学・免疫・解剖学的(分子生物学)手法を用いる垣根を超えたアプローチで望む。
- 3専門看護領域で専門看護師教育課程が展開しているが、人的・物理的な厳しい現状を改善するためには専門看護師教育課程をどのようなビジョンのもとに展開していくかを専門領域の垣根を越えて全学的に検討していくことが必要である。
- 関連施設とデータベース統一化を図り幅広い臨床研究を行いたい。
- 常に新しい情報を提供することを心がけている。
- より多くの医師に大学院博士課程に進学してもらうために学費の値下げを希望します。

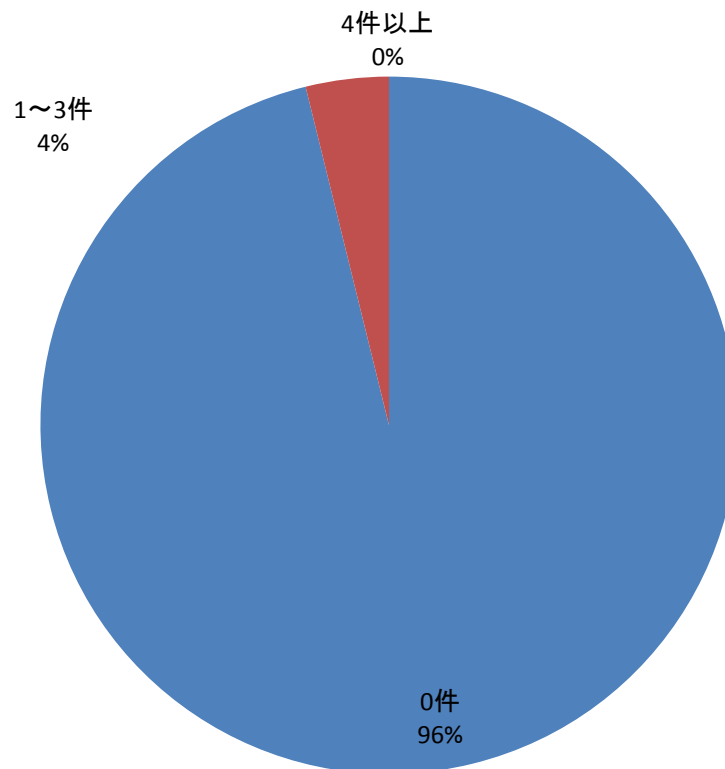
学生による大学院教育・研究に関する意識調査 (修士課程)結果1

国内の学会・研究会発表数



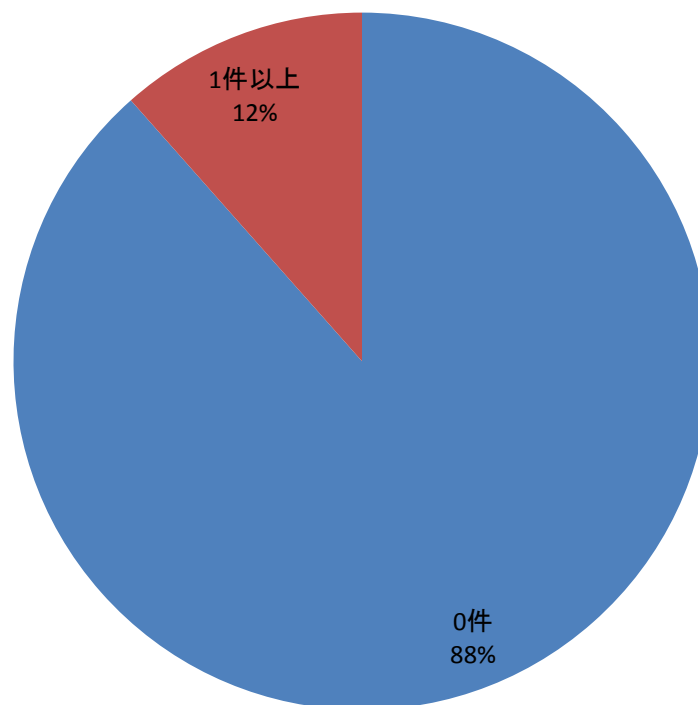
学生による大学院教育・研究に関する意識調査 (修士課程)結果2

海外の学会・研究会発表数



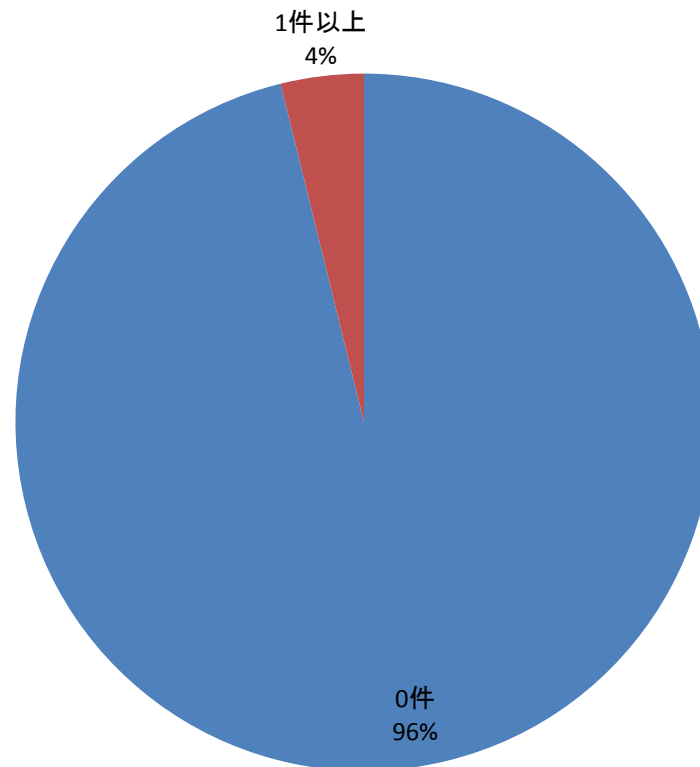
学生による大学院教育・研究に関する意識調査 (修士課程)結果3

国内の論文発表数



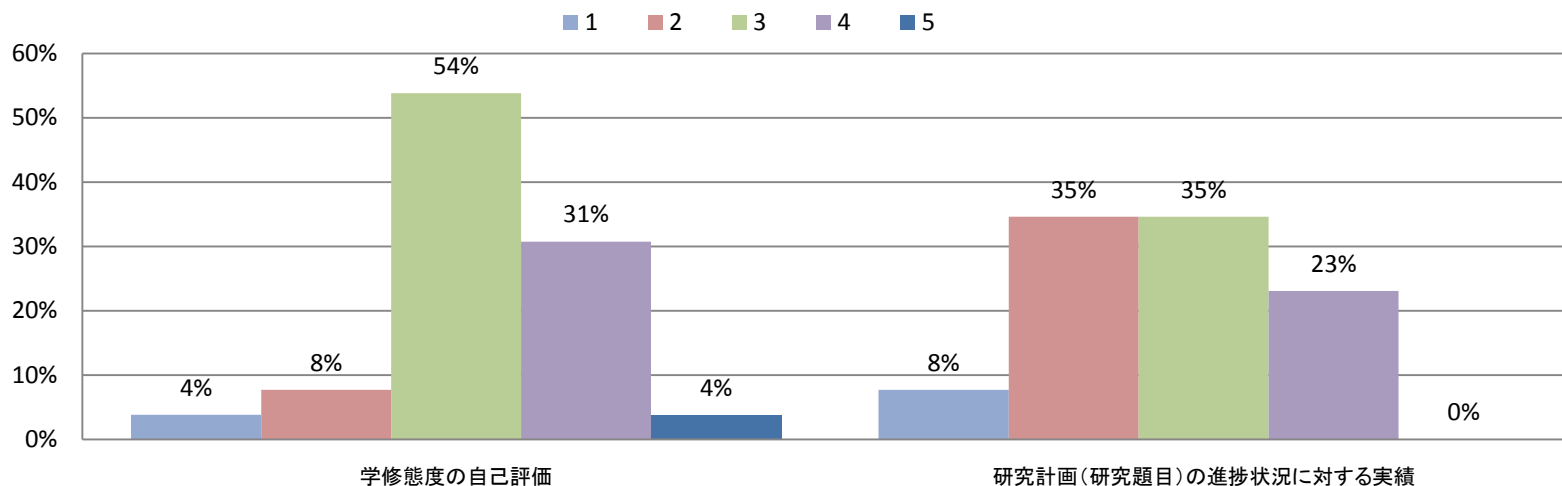
学生による大学院教育・研究に関する意識調査 (修士課程)結果4

海外の論文発表数



学生による大学院教育・研究に関する意識調査 (修士課程)結果5

自身の専攻科目に対する自己評価(5段階評価)

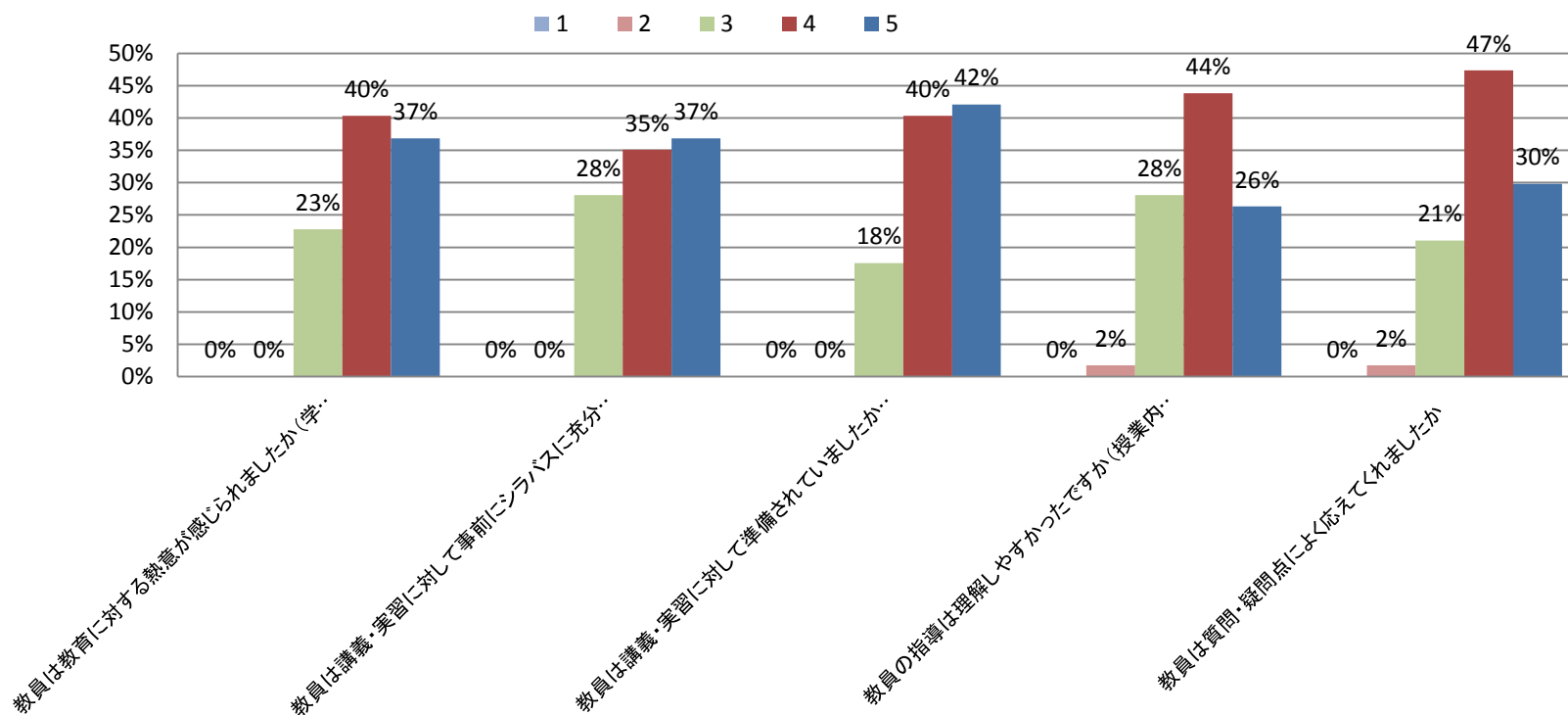


学生による大学院教育・研究に関する意識調査(修士課程)

結果6

5段階評価～基礎科目

5段階評価(基礎科目)

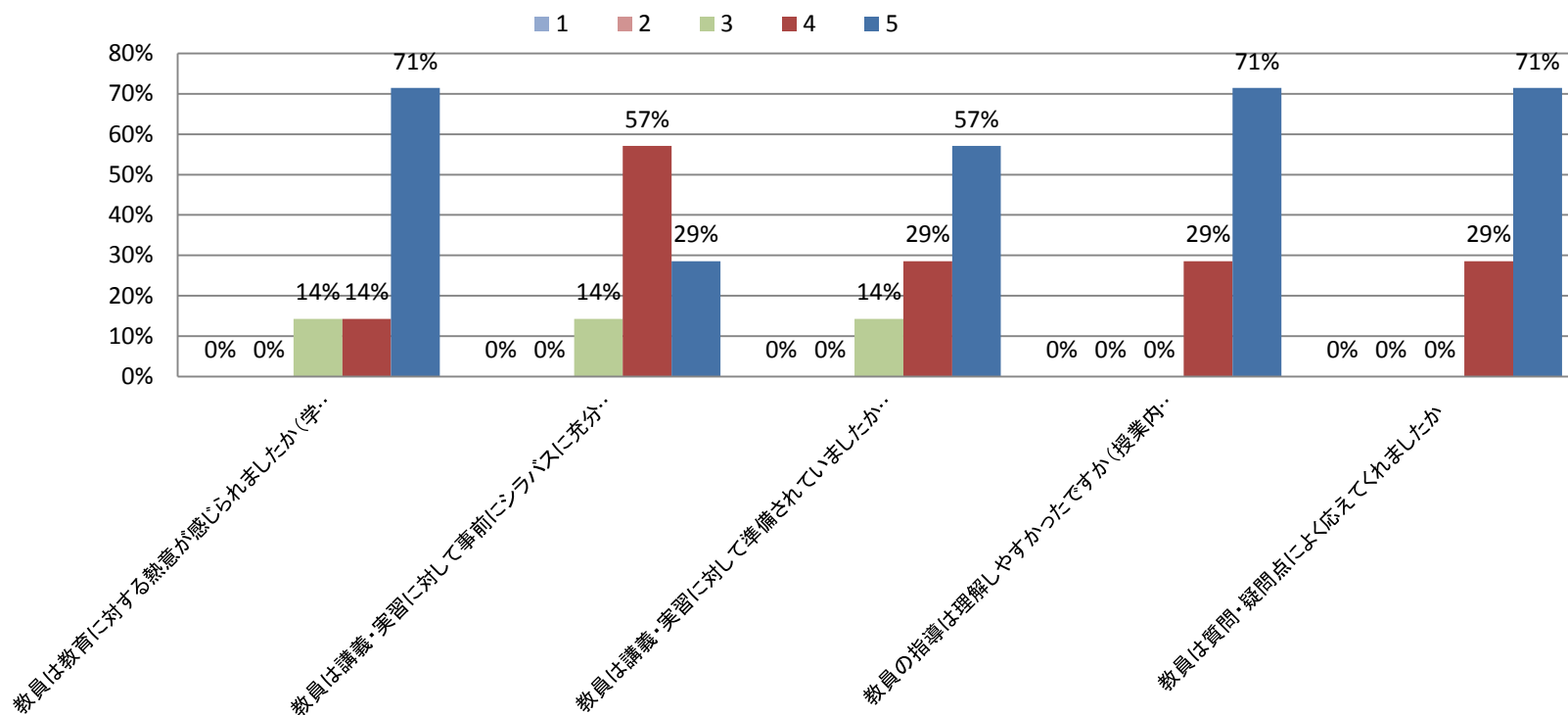


学生による大学院教育・研究に関する意識調査(修士課程)

結果7

5段階評価～共通科目

5段階評価(共通科目)

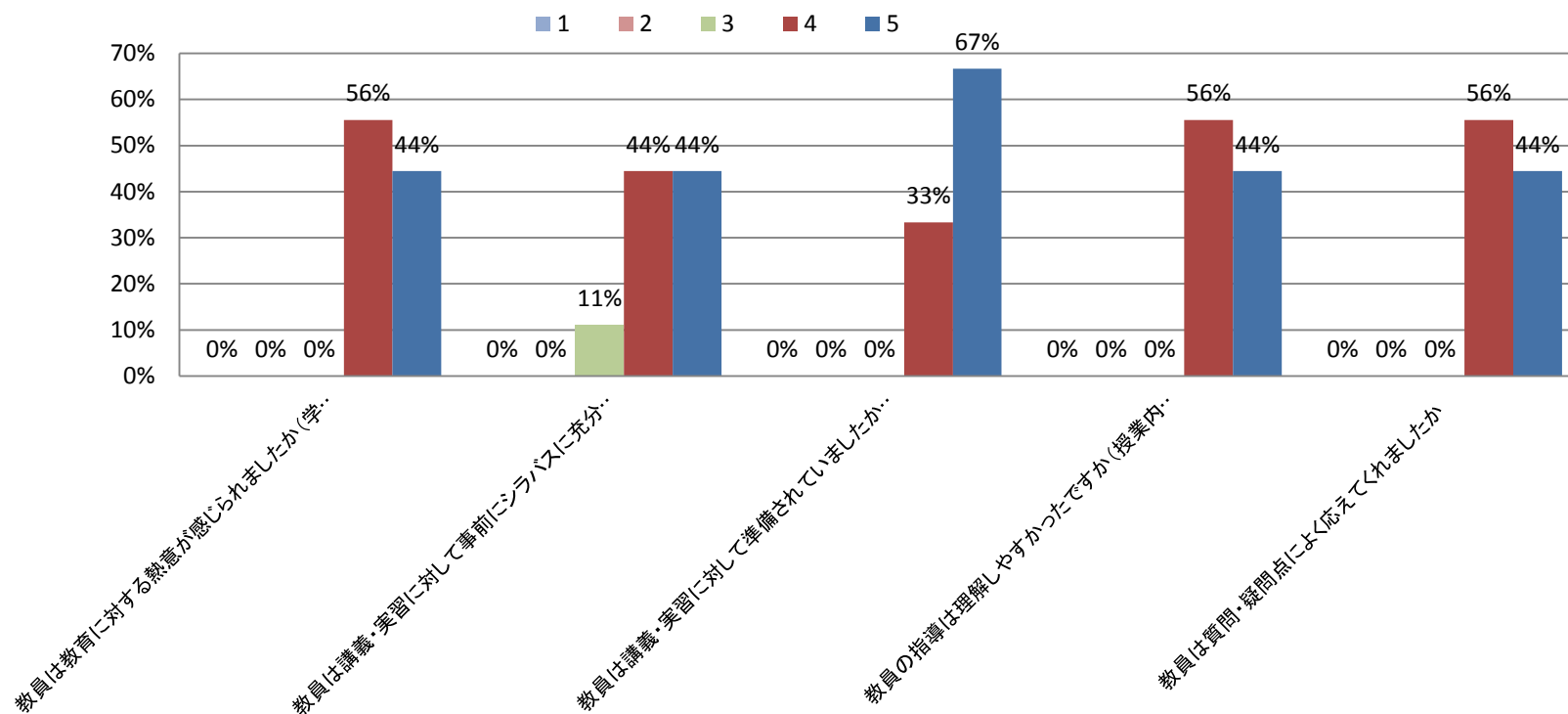


学生による大学院教育・研究に関する意識調査(修士課程)

結果8

5段階評価～基礎医学群

5段階評価(基礎医学群)

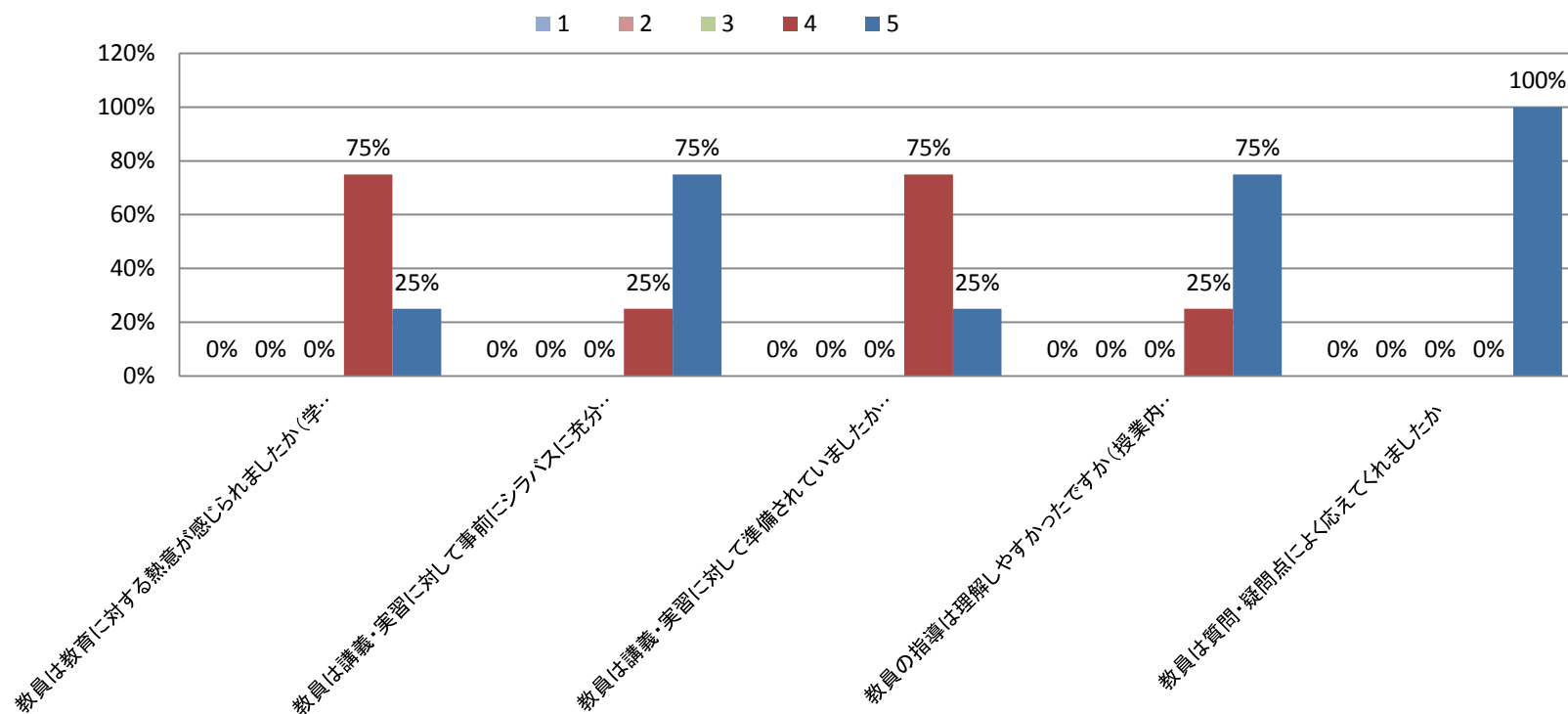


学生による大学院教育・研究に関する意識調査(修士課程)

結果9

5段階評価～社会医学群

5段階評価(社会医学群)

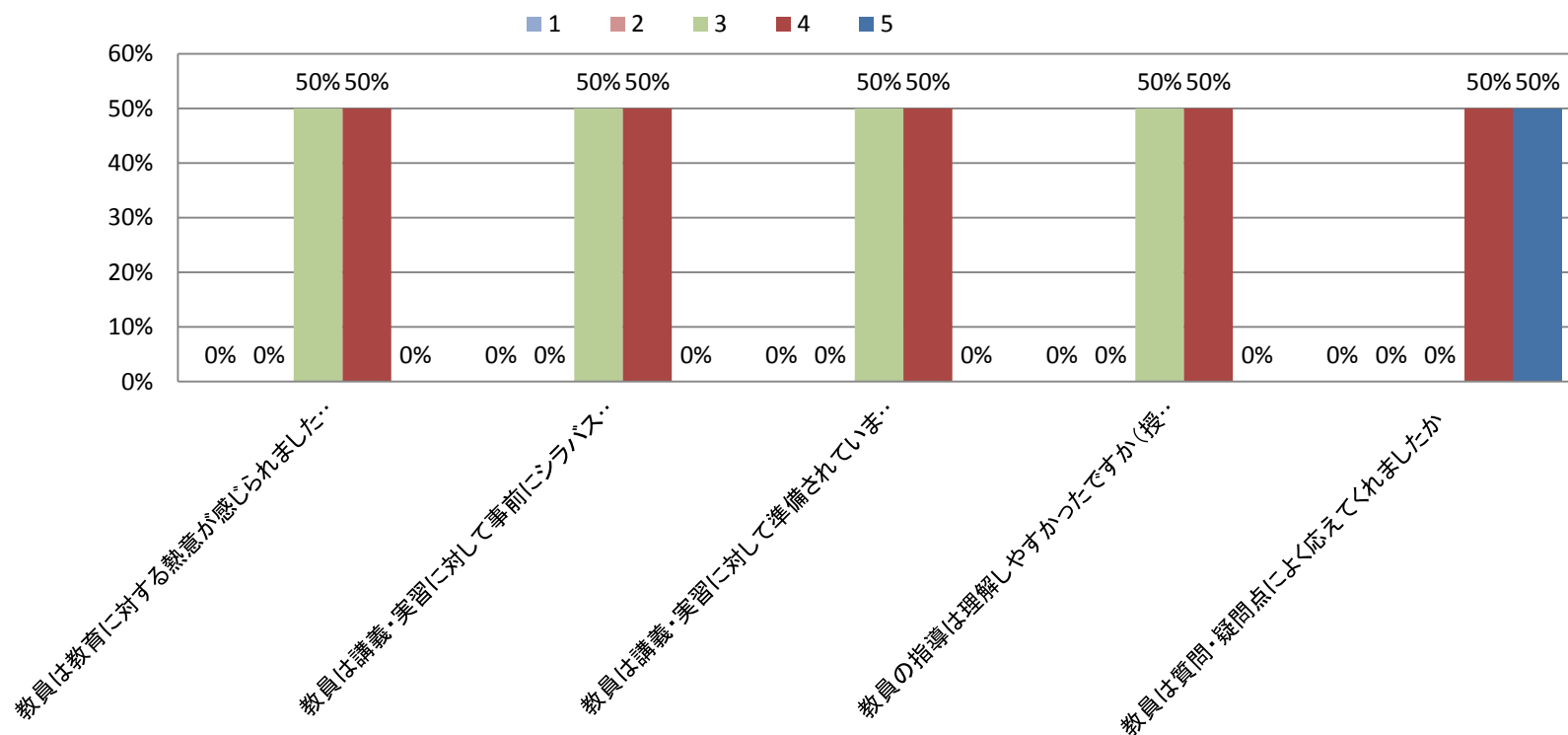


学生による大学院教育・研究に関する意識調査(修士課程)

結果10

5段階評価～臨床看護学群

5段階評価(臨床看護学群)

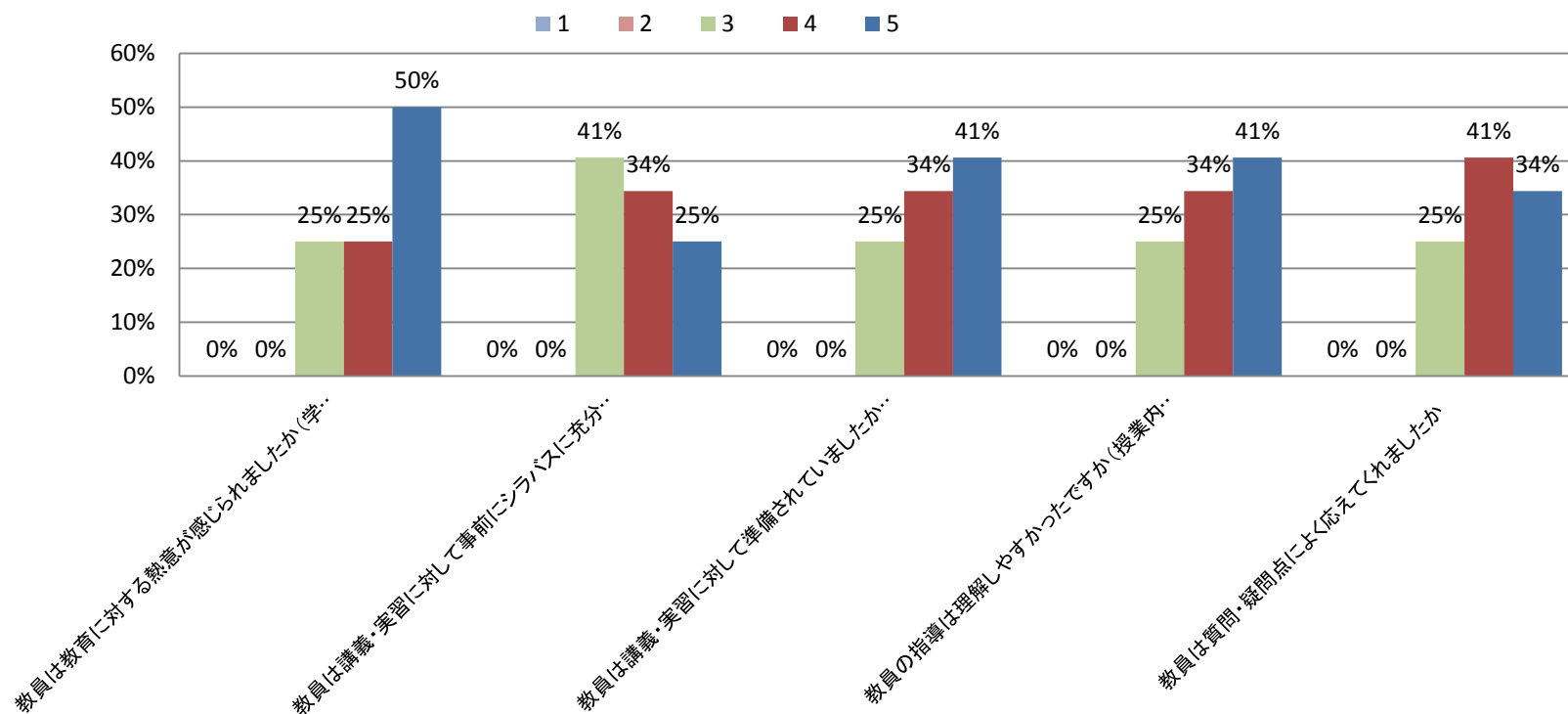


学生による大学院教育・研究に関する意識調査(修士課程)

結果11

5段階評価～バイオ統計学群

5段階評価(バイオ統計学群)



学生による大学院教育・研究に関する意識調査 (修士課程)結果12～学生からのコメント(1)基礎科目

- 早い時期から開始して長期に行って欲しい。
- 前半はとても厳しくやや辛い講義だった。
- 医学におけるすべての分野のテーマが設定され多くのことが理解できた。
- 漢方の内容を取り入れていただきたいと思います。臨床で漢方が使用される頻度が増えているので。
- 講義が難しかった。もう少し看護学に関連する講義もあればよいと思う。
- 学外講師の存在は大きい。

学生による大学院教育・研究に関する意識調査 (修士課程)結果12～学生からのコメント(2) 共通科目

- 大学院全体を通して他の学生が行っている研究や先生方の研究などに触れる機会が少ない。もっと研究に触れる機会があればよい。
- 熱意をもって指導して頂きました。
- 研究テーマが明確に決定できたので初めての研究でも基礎的なことを学ぶことができた。

学生による大学院教育・研究に関する意識調査 (修士課程)結果12 ～学生からのコメント(3)各学群

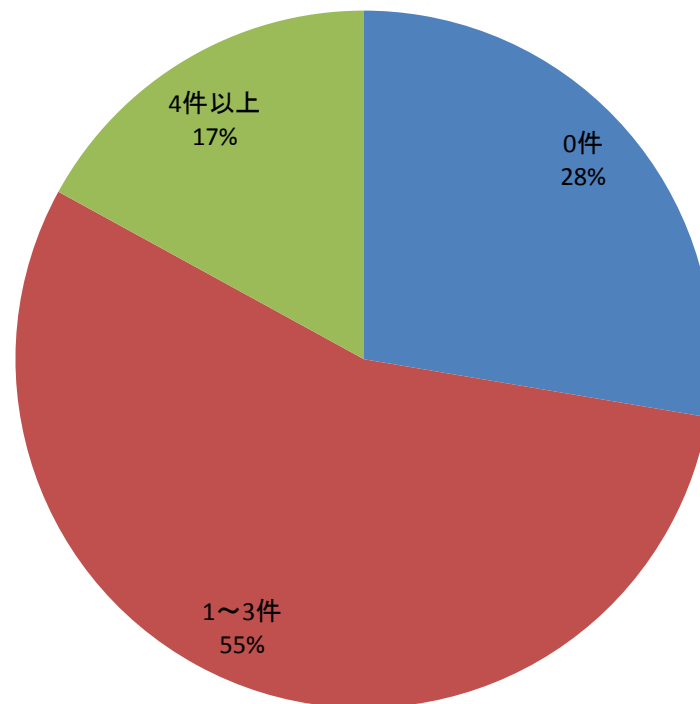
- トータルに薬理学についての学習ができたが、専門分野についての薬理学、薬理作用を学びたかった。
- 基礎・臨床の双方から研究手法、実験方法、論文の読み方を学ぶことができた。看護師としては体験できない貴重な講義でした。
- 自分自身で学習していくプロセスを学習できた。
- 認知症の理解を深めることができた。
- 講義に加えて研究や実験に一部参加できたことでより充実した。
- ディスカッション形式でとてもわかり易かった。
- 受講者一人に対してもきちんと準備して頂き熱心に講義していただきました。
- 院生の学習室を改善してほしい。
- 研究室のPCを使用しやすくしてほしい。学位論文作成の時期に使用する場所に困る。
- 実習開始にあたっては到達目標の具体的提示があってもよかった。シラバスだけでは十分に伝わらない。
- 実習前の手続きについて大学院と指導教員の間でマニュアル化してほしい。

学生による大学院教育・研究に関する意識調査 (修士課程)結果12 ～学生からのコメント(4)各学群

- 実習のための事前準備が大変であったと思います。ありがとうございました。
- 演習とともに講義による学習も行いたかった。
- 国際学会での発表、病院視察という貴重な体験ができた。英語での論文作成のサポートがあればよかった。
- 下準備を行う時間が欲しかった。また英語の学習不足を実感した。
- 自己の学習が不足していました。
- 学位論文に取り組むにあたり必要とされる統計学的視点からの課題抽出について自身の考えを深めることができた。
- 書籍で見たことしかない分野だったが興味を持ち受講できた。
- 非常にユニークで実務に活用できる講義でした。

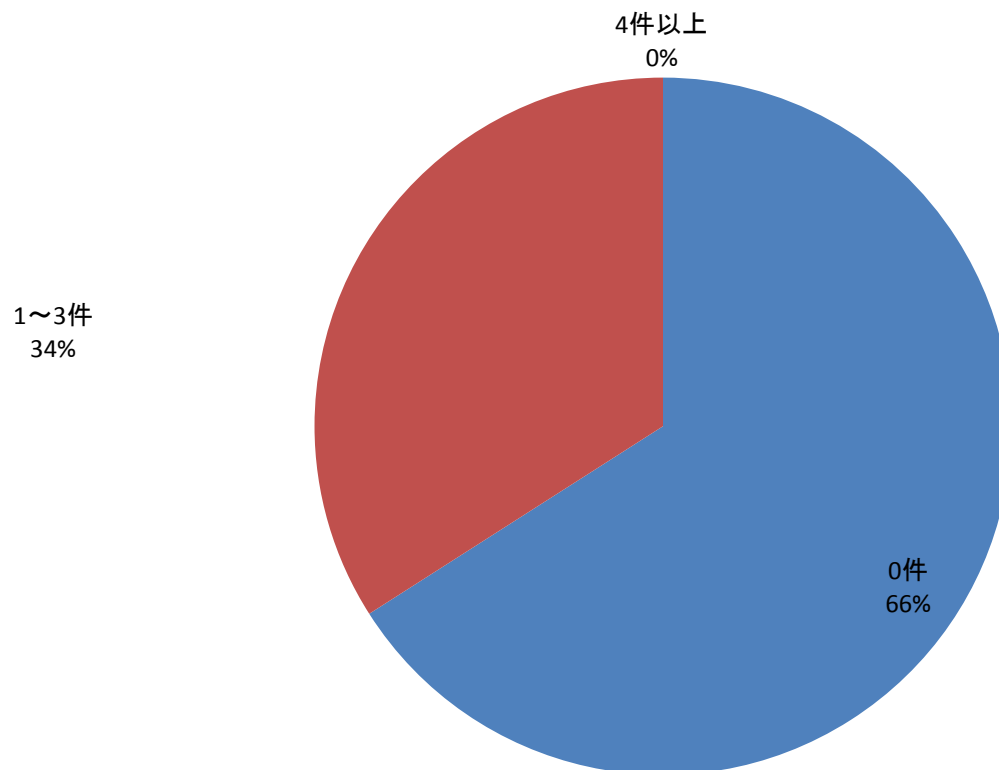
学生による大学院教育・研究に関する意識調査 (博士課程)結果1

国内の学会・研究会発表数



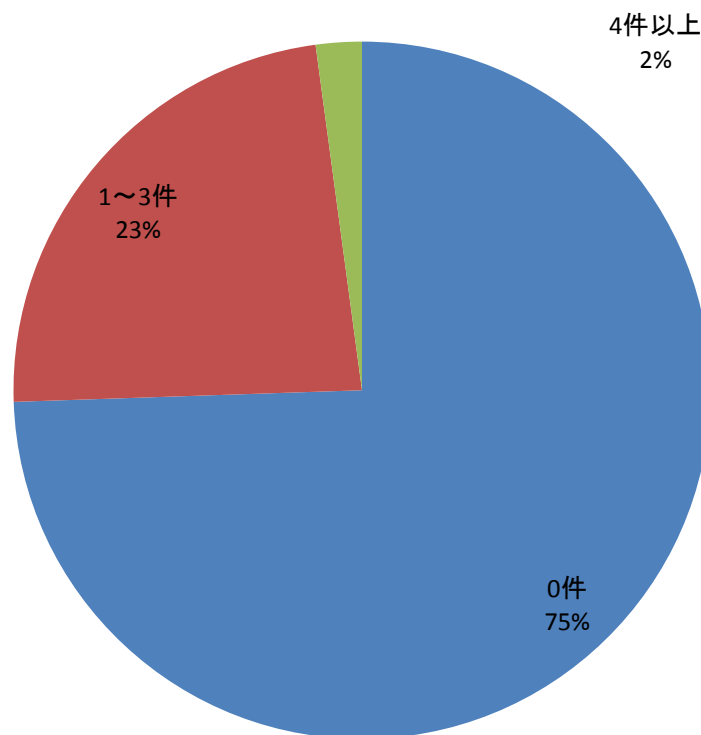
学生による大学院教育・研究に関する意識調査 (博士課程)結果2

海外の学会・研究会発表数



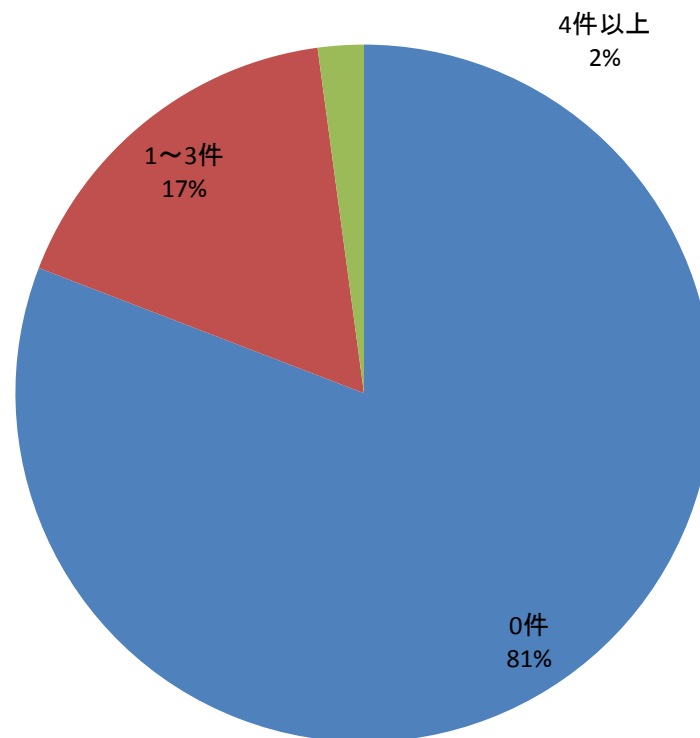
学生による大学院教育・研究に関する意識調査 (博士課程)結果3

国内の論文発表数



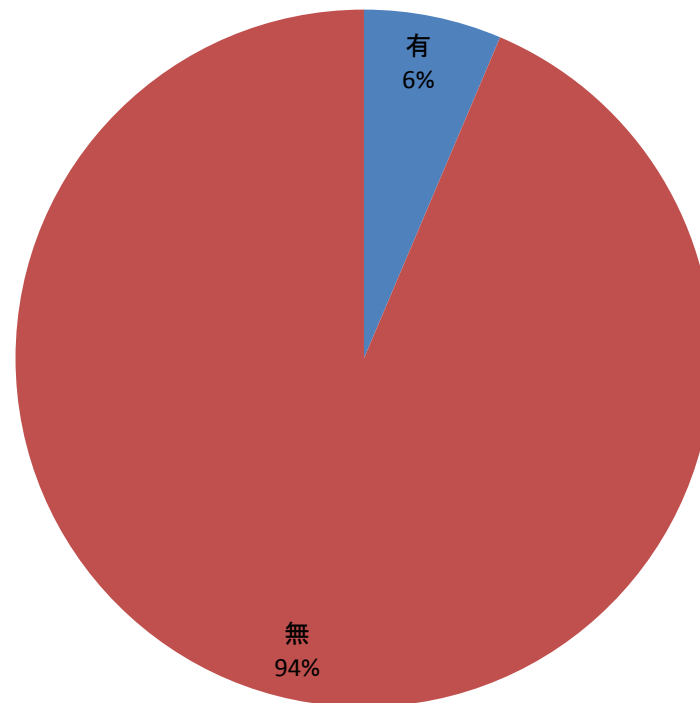
学生による大学院教育・研究に関する意識調査 (博士課程)結果4

海外の論文発表数



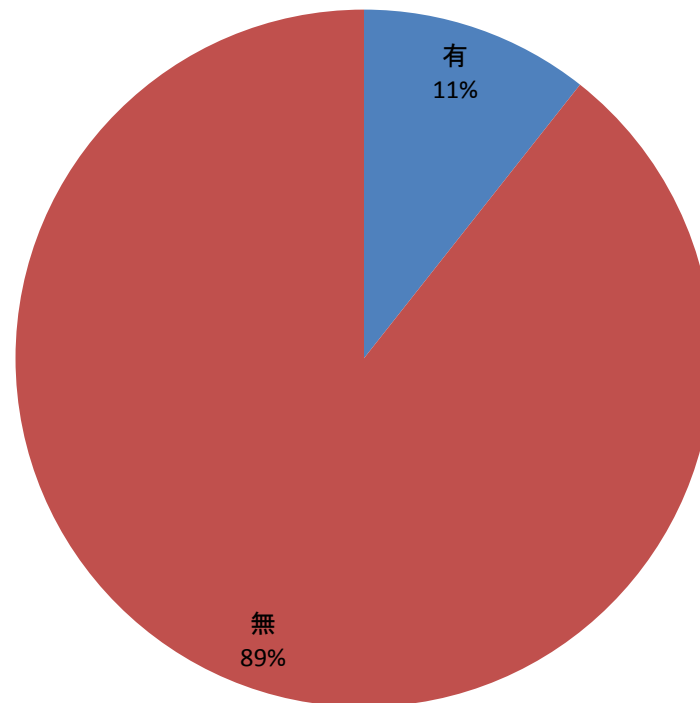
学生による大学院教育・研究に関する意識調査 (博士課程)結果5

研究費の獲得状況



学生による大学院教育・研究に関する意識調査 (博士課程)結果6

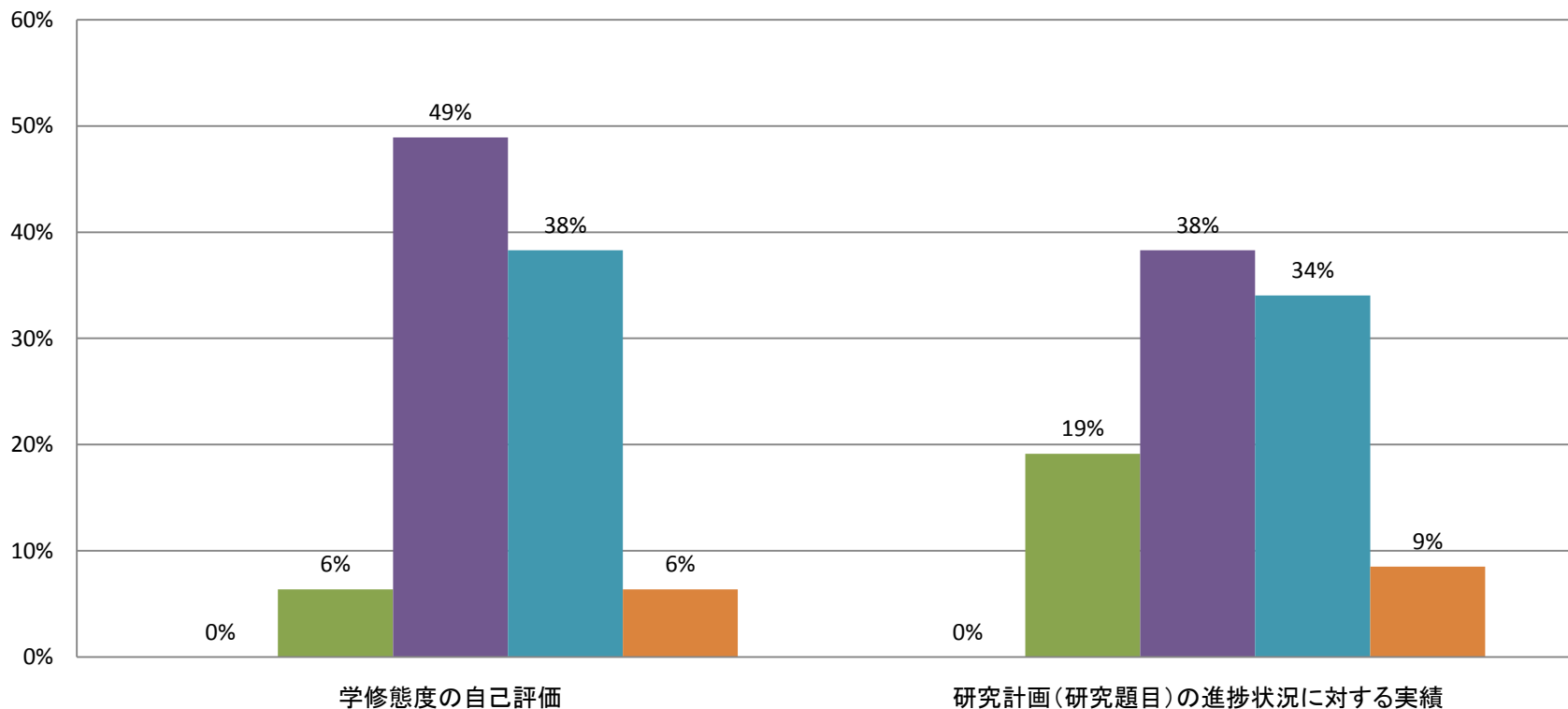
学会賞等獲得有無



学生による大学院教育・研究に関する意識調査 (博士課程)結果7

自身の専攻科目に対する自己評価(5段階評価)

■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4 ■ 5



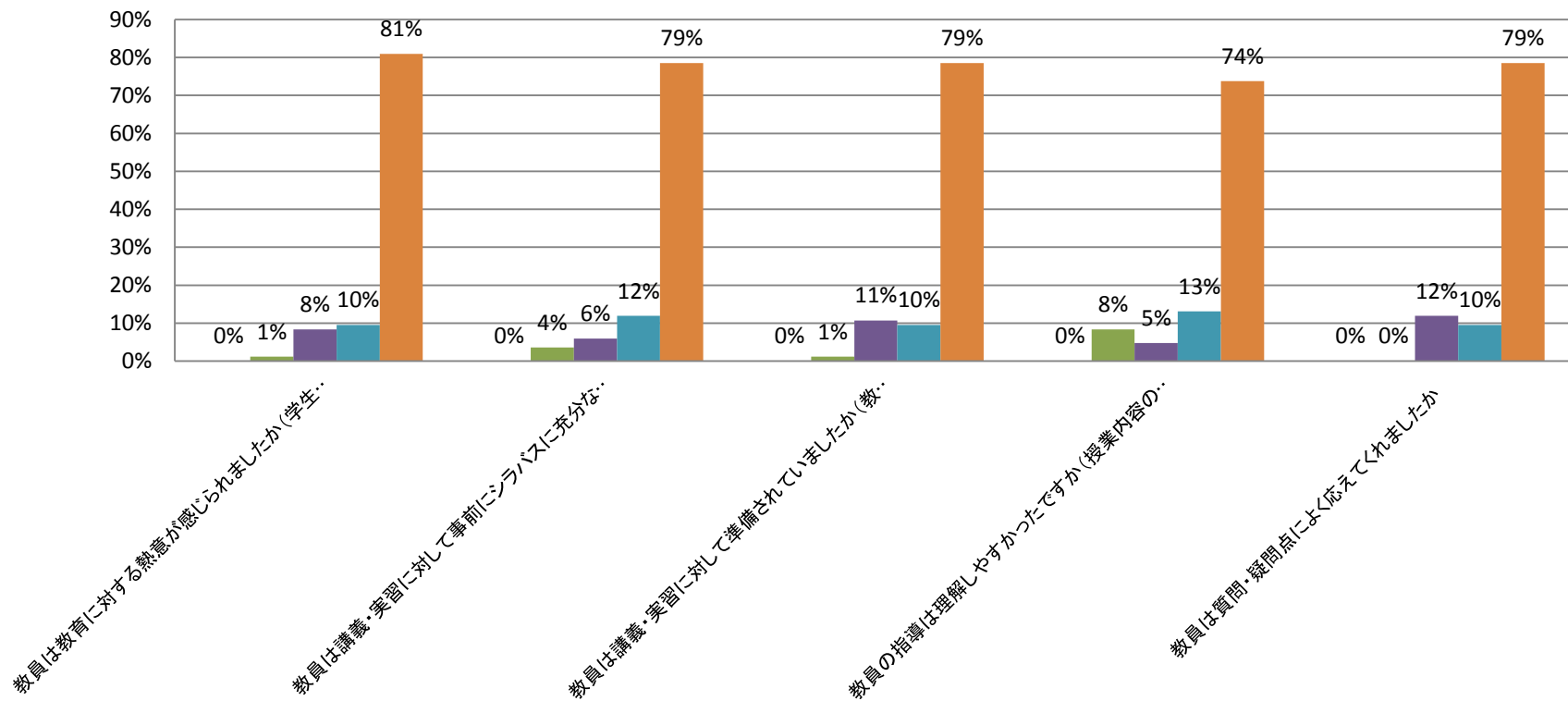
学生による大学院教育・研究に関する意識調査(博士課程)

結果8

5段階評価～共通科目

5段階評価(共通科目)

■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4 ■ 5



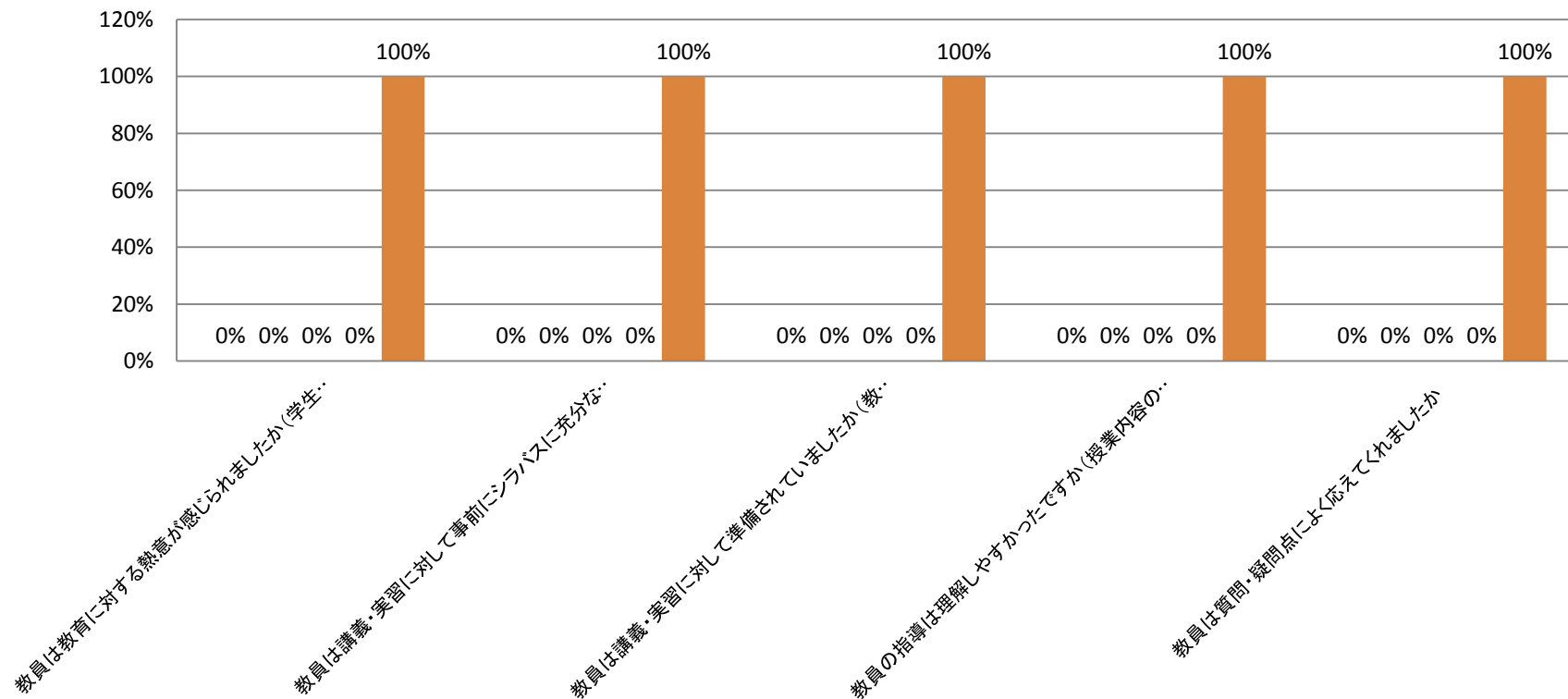
学生による大学院教育・研究に関する意識調査(博士課程)

結果9

5段階評価～生理系専攻

5段階評価(生理系専攻)

■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4 ■ 5



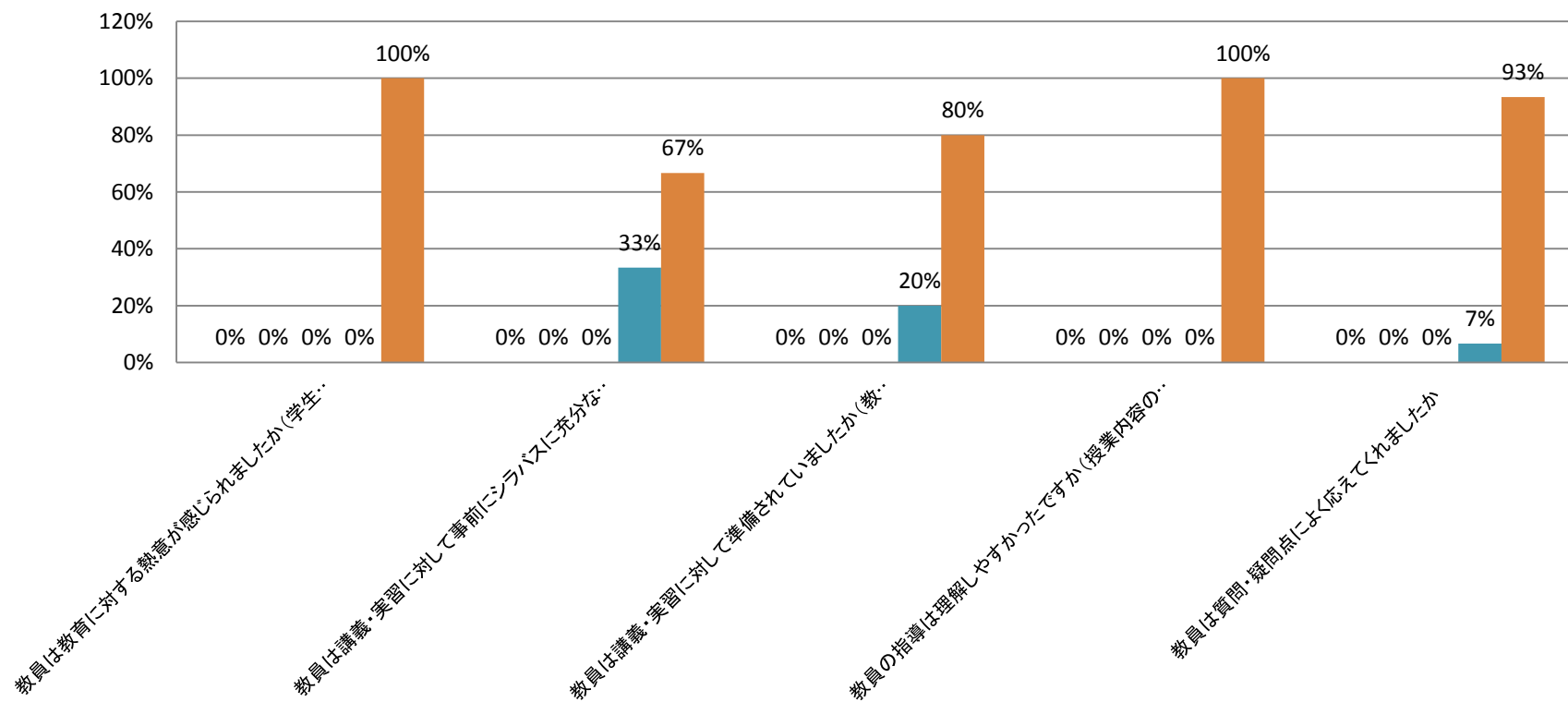
学生による大学院教育・研究に関する意識調査(博士課程)

結果10

5段階評価～病理系専攻

5段階評価(病理系専攻)

■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4 ■ 5



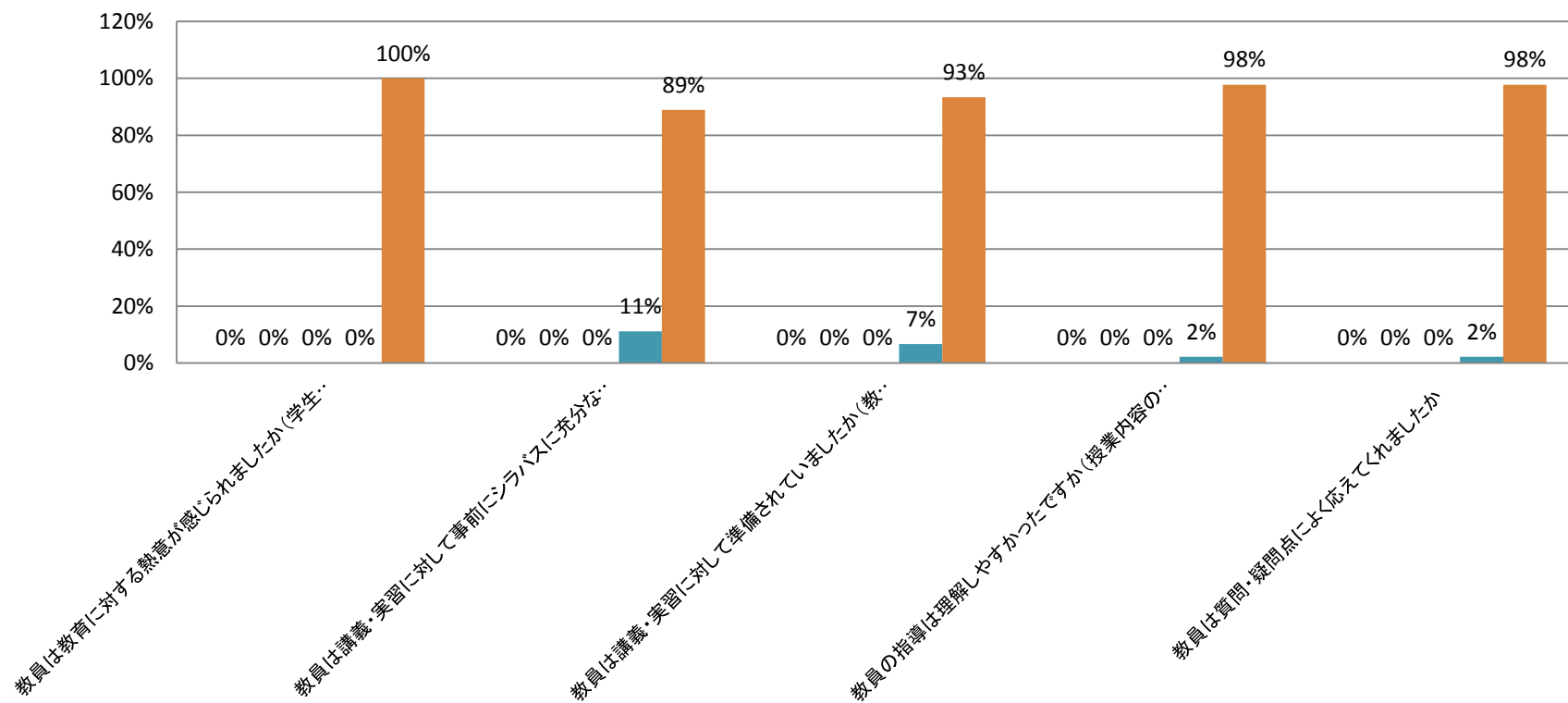
学生による大学院教育・研究に関する意識調査(博士課程)

結果11

5段階評価～社会医学系専攻

5段階評価(社会医学系専攻)

■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4 ■ 5



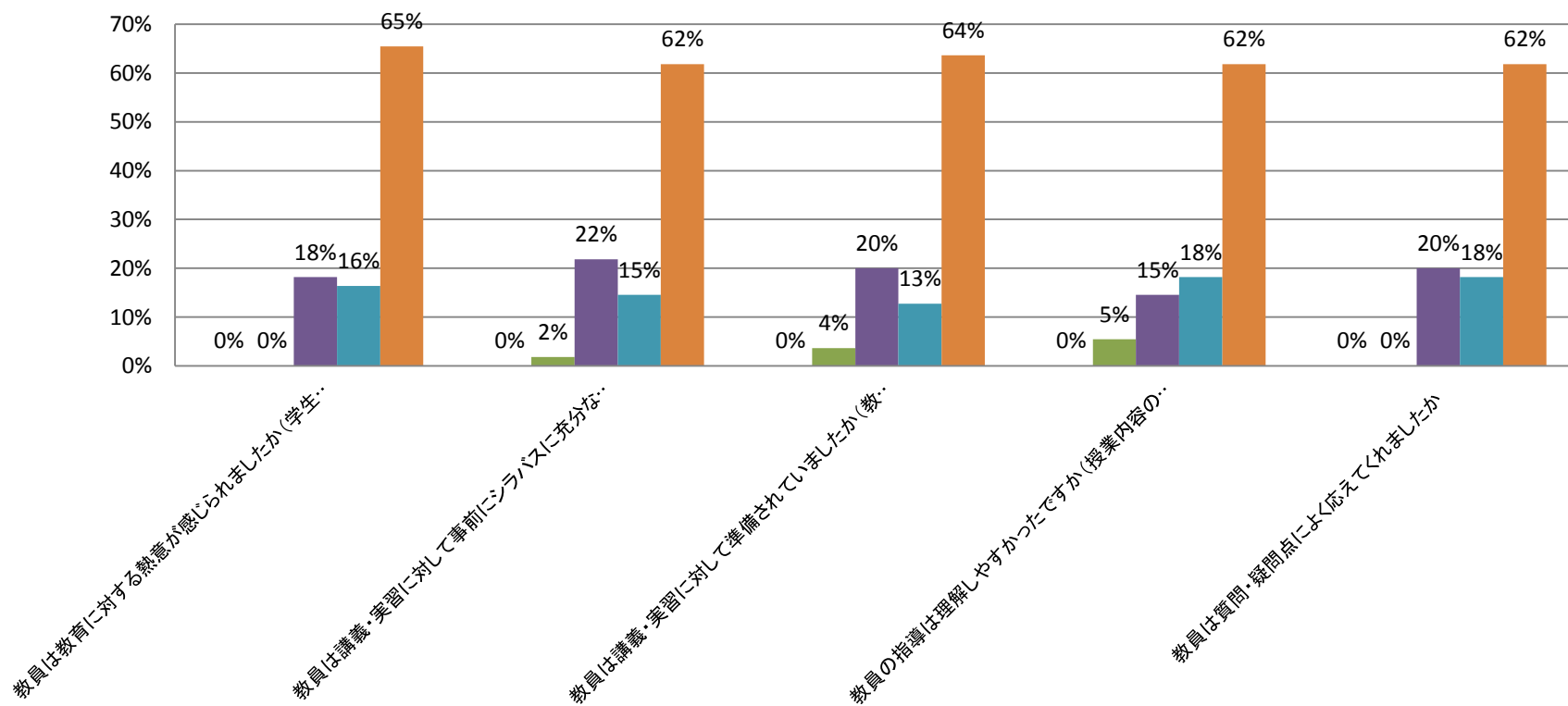
学生による大学院教育・研究に関する意識調査(博士課程)

結果12

5段階評価～個別最適医療系専攻

5段階評価(個別最適医療系専攻)

■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4 ■ 5



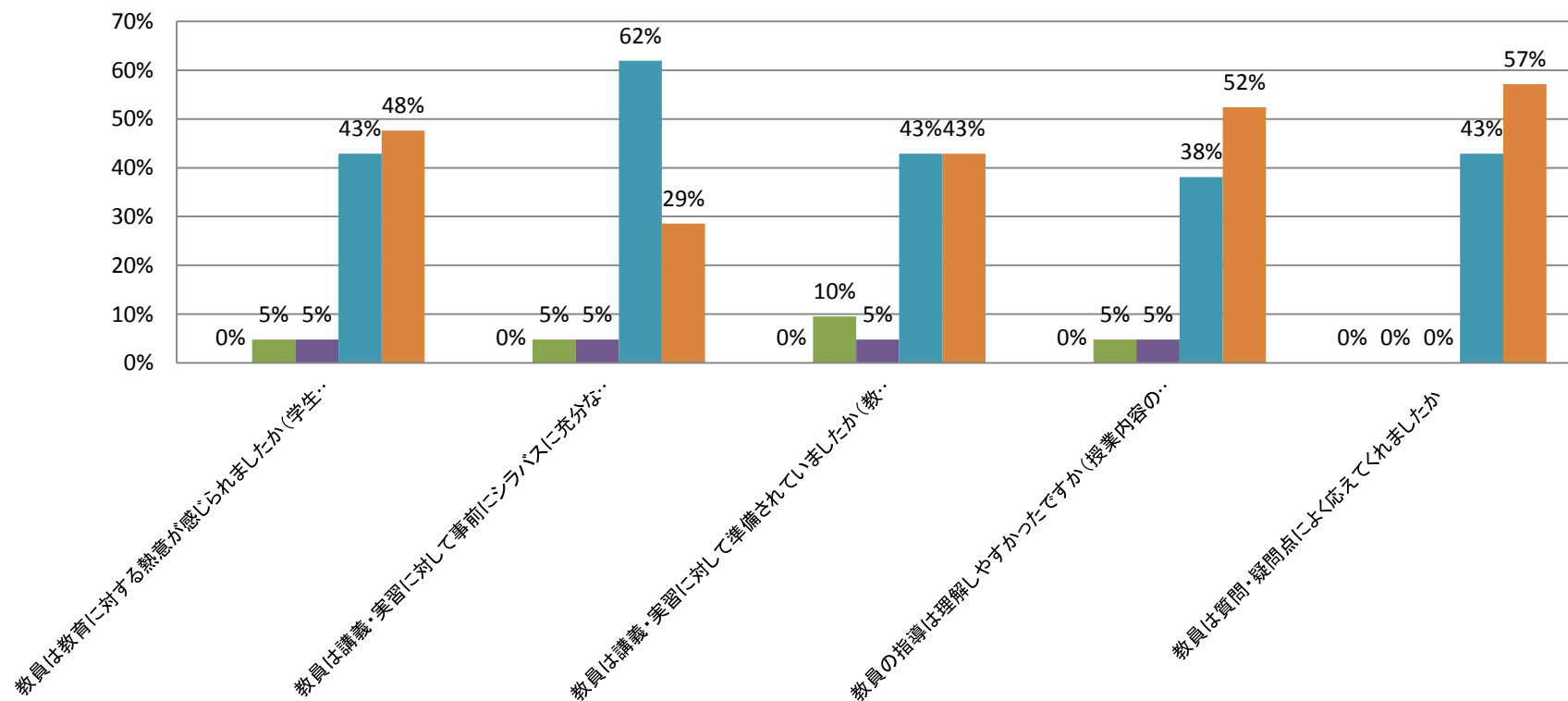
学生による大学院教育・研究に関する意識調査(博士課程)

結果13

5段階評価～論文実習

5段階評価(論文実習)

■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4 ■ 5



学生による大学院教育・研究に関する意識調査(博士課程)結果14～学生からのコメント(1) 共通科目

- レポート課題でしたので文献より深めることはできたが講義を希望します。
- 論文作成時に大変参考になりました。現在投稿中ですが、提出時のアドバイスまでいただきました。おかげでスムーズに行えています。ありがとうございました。
- もう少し多くの特別講義を受講できたらいいと思う。
- 演習とレポート課題で学びが深まりました。
- 実験計画・統計処理に役立ちました

調査を終えて ～分析1～

1. 教員に対する大学院教育・研究に関する意識調査結果

(1) 国内外において発表実績あり

(2) 研究費は科研費が主流

(3) 教員の自己分析

→シラバスなどへの情報提供や自身の研究実績に不十分さを感じている。

(4) 教員の大学院教育に対するコメント

→限りある時間のなかで、いかに教育・研究・診療を行うか。

将来の展望について全学的に検討していくことが必要である。

調査を終えて ～分析2～

3. 学生による大学院教育・研究に関する意識調査(修士課程)結果

(1) 学生の学会・論文発表は低率

(2) 学修態度自己分析は高いが、研究の進捗状況に関しては停滞気味

(3) 学群別科目別の5段階評価は高い評価

(4) 修士課程学生による大学院教育へのコメント

→概ね高い評価。

中には・・・

学習室などの環境整備を求める声がある。

調査を終えて ～分析3～

4. 学生による大学院教育・研究に関する意識調査(博士課程)結果

(1) 学生の学会・論文発表の実績あり

(2) 研究費を獲得している学生はほとんど無い。

(3) 学修態度・研究進捗ともに概ね良好

(4) 専攻別科目別の5段階評価は高い評価

(5) 博士課程学生による大学院教育へのコメント

→概ね高い評価。

中には・・・

講義開催の要望あり。

調査を終えて ～分析4～

- 分析の結果現在の教育に対する満足度は概ね高いものであった。
しかしながら、今回だされた改善を求める意見について、今後の更なる教育充実にむけ真摯に取り組んでいきたいと考える。